

事業

事業の目的

～竹林が繁茂し、住民の悩みとなっている～

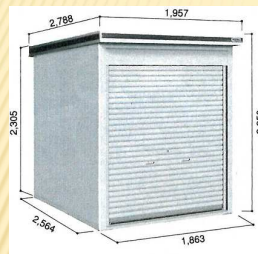
- この竹を《樹木破砕機》で粉にし、竹の繁茂を防ぐ・・・**里山の整備!**
- 竹の粉を作物に施肥することで、品質向上を図る・・・**特産品開発!**



この一石二鳥を行うことが目的

事業

これまでの事業による購入品



格納庫 (1棟)



チェンソー 2台
ソーチェン 2本

樹木破砕機

受け刃 1枚
チップパー刃 1枚



サイクロン 1台



フレコン 10枚

手順

竹の伐採・切り出し



手順

破砕機を使って竹パウダーの製造



手順 製造した竹パウダーを混合・発酵



手順 堆肥散布機で圃場に散布



工事 機械の試運転



効果 施肥の方法

「あきさかり」施肥例(H25)

《田植前前に使用する場合》

4月 竹粉肥料 300kg/10a
(土壌診断に基づき)
土づくり肥料

基肥 J B575M 25kg/10a

追肥



《田植後後に使用する場合》

(土壌診断に基づき)
4月 土づくり肥料

基肥 J B575M 25kg/10a

追肥 竹粉肥料 80kg/10a
6月 (ペレット)



効果 山内ブランド米作付計画

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
作付面積 (ha)	1.7	4.5	7.6	17.3	20	25	30
生産者 (人)	6	9	15	30	40	50	60
取組み地域	殿垣内	殿垣内	殿垣内	殿垣内			
	高茂	高茂	高茂	高茂			
	水越	水越	水越	水越			
	山内	山内	山内	山内			
	平和	平和	平和	平和			
				本郷			
			木戸				

効果 山内ブランド米の実績・目標

年度	H22	H23	H24	H25	H26年 (目標)	H27年 (目標)	H28年 (目標)
竹肥料 使用量	9 t	23 t	26 t	40 t	45 t	55 t	65 t
施肥形態	基肥	基肥	基肥 追肥	基肥 追肥	基肥 追肥	基肥 追肥	基肥 追肥
栽培面積	1.7ha	4.5ha	7.6ha	17.3ha	20ha	25ha	30ha
コメ 生産量	9 t	24 t	41 t	93 t	108 t	135 t	162 t

効果 生育調査・現地確認会



効果 栽培勉強会・研修会



竹肥料を使ったコメの食味値の変化

	H21年	H22年	H23年	H24
食味値	80	85	90	91
(上位3点)	77	84	85	90
	77	83	84	88
栽培品種	コシヒカリ	コシヒカリ	コシヒカリ	コシヒカリ
	中生新千本	中生新千本	どんとこい	どんとこい
	ミルキークイーン	ミルキークイーン	ミルキークイーン	ミルキークイーン
			ひとめぼれ	ひとめぼれ
				あきさかり
				にこまる
H21年は竹肥料を使用していない。 赤字は、コンクール入賞品種				利根のめぐみ

成績 全国3会場の米食味コンクールで入賞



- 第2回大阪府民いっちゃんうまい米コンテスト：総合最優秀賞
- 第2回米・1グランプリ in らんこし：3点入賞
- 第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会：小学校部門金賞

計画 作物の生産・販売計画

■ 取組み計画(平成21年度作成)

- | | | |
|-----|----------------------------|----------------|
| 段階1 | 作物に対する適正試験を行う | } 平成22～
23年 |
| 段階2 | 作物ごとの施用量を試験する | |
| 段階3 | 栽培農家の増加を図り研修 | |
| 段階4 | 低農薬、高品質作物の生産 | |
| 段階5 | 特産品として宣伝, 販売
(2～3年後目途に) | } 平成24年 |
| 段階6 | 農家所得の向上 | } 平成25年～ |

目標 ブランド米にするための3本の矢

1. 生産面積(量)の拡大(目標30ha)

22年	23年	24年	25年
1.7ha	4.5ha	7.6ha	17.3ha

2. 広告宣伝

- ・山内自治振興センター壁面へ広告掲示
- ・食味コンクール出展(昨年は日本一)

3. 販売方法の確立

・インターネット販売

- ・農協販売
- ・卸業者
- ・小売業者
- ・他

努力に見合った価格で販売

- 面積拡大
 - 生産者増加
 - 農家所得の向上
- につながる

